

保育総合研究会広報誌 NO. 66

発行所： 保育総合研究会事務局 H28.8
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内
TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831
発行人： 会長 梶 沢 幸 苗



平成28年7月20日(月)午後1時から、アイビーホール青学会館において第55回定例会が行われた。

基調報告

(テーマ) 「幼児教育の現状について」

(報告者) 当会副会長 坂崎 隆浩

(1) 幼児教育の歴史と近年国内外における幼児教育の重要性への認識の高まり

幼稚園は明治9年(1876年)東京女子師範付属幼稚園によるものが始まりである。

保育所は戦前より託児所として存在していたが戦後、戦争孤児等を対象にした施設から昭和22年児童福祉法により認可保育所制度が発足しました。

(幼稚園と幼児教育)

倉内惣三の保育観は「誘導保育」が中心となっており、自発的に活動させ、先生がそれを誘い促し助けることが大事であると説いている。

・保育の定義を再確認

「保育に欠ける」は大人によって世話される生活に欠ける(保育所保育指針)。

以前は家庭養育の補完が従前の定義であり、現在は園と家庭は車の両輪という考えである。

- 平成8年 中央教育審議会答申において現在の幼児期の教育を示した。21世紀を展望した我が国の保育の在り方について「生きる力」と「ゆとり」を提言したが「ゆとり」は2年五に撤回された。
- 平成17年 中央教育審議会答申では「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育の在り方」第1節幼児期における教育の重要性、第2節幼児期の意義及び役割知識基盤社会へ。
- 平成18年 教育基本法の60年ぶり全面改正。人格形成の基礎を培う。
- 平成19年 学校教育法改正。幼稚園は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う。」
- 平成27年 子ども・子育て支援新制度スタート。全ての子どもに質の高い幼児教育を提供。
- 平成28年 国立政策研究所に「幼児教育センター」を設置。



(2) 最近の乳幼児教育の動向

2007年「ペリー修学前計画」アメリカでは質の高い幼児教育を受けることにより、その後の学力の向上や将来の所得向上、逮捕歴の低下につながるという調査結果がでている。非認知的スキルを育てる幼児教育への投資。

(3) OECDにおける幼児教育分野の取組

OECDにおいても、幼児教育の重要性への認識が高まる。

幼児教育・保育政策に関する情報換及び議論の場としてECEC(幼児の教育と保育)ネットワークを設置。

(4) 「幼児教育振興法(仮称)案」との関係

幼児教育は生涯にわたる人格形成を培う非常に重要なものであり、その振興は国家戦略として政府・与党をあげて全力で取り組むべき重要課題である。

(5) 来春の幼稚園教育要領改訂の趣旨

- ・幼児に育成すべき資質・能力を育む観点から教育目標・内容と指導方法、評価の在り方を一体として検討する。
- ・非認知的能力を育むことがその後の学びと関わる重要な点である
- ・幼児教育の改善、充実を図る中で小学校教育との接続を一層強化していくことが重要

(6) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

大項目の再整理・・・平成22年以降の社会情勢や子どもを取り巻く変化、中央教育審議会幼児教育部会等の議論や「教育課程特別部会論点整理」を踏まえ又2030年の社会と子どもたちの未来を見据える。

健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量・図形、文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現。

講演

(テーマ) 「幼児教育の質の向上について」
(講師) 国立教育政策研究所 幼児教育研究センター
初等中等教育研究部 堀越 紀香 氏

幼児教育・幼小接続に関する動向

- 2014年 中央教育審議会
「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」
子どもの発達の早期化をめぐる現象や指摘及び幼児教育の特性等を踏まえ幼児教育と小学校教育をより円滑に接続させるためにはどのような見直しが必要か。

幼児接続とは？

- ・幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について
発達と学びの連続性、学びの基礎力の育成。
- ・幼小接続に関する要領・指針での扱い
発達や学びの連続性を確保することの明記。
これまでの連携を図るようにするから一歩先へ進んだ。



幼児教育において育みたい資質・能力

- ・知識や技能の基礎、思孝力、判断力、表現力等の基礎、学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

1. 健康な心と体
見通しを持って自ら健康で安全な生活を作りだしていけるようになる。
2. 自立心
諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動するようになる。
3. 協同性
友達との関わりを通して思いを共有しやり遂げるようになる。
4. 道徳性、規範意識の芽生え
きまりを守る必要性が分かる。
5. 社会生活との関わり
社会とのつながりの意識等が芽生えるようになる。
6. 思考力の芽生え
新しい考えを生み出す喜びを感じながら自分の考えをよりよいものにするようになる。
7. 自然との関わり、生命尊重
身近な動植物を命あるものとして心を動かし、親しみを持って接し、いたわり大切に
する気持ちを持つようになる。
8. 数量、図形、文字等への関心、感覚
数量、図形、文字等への関心、感覚が一層高まるようになる。
9. 言葉による伝え合い
思い巡らせたことなどを言葉で表現することを通して、言葉による表現を楽しむ
ようになる。
10. 豊かな感性と表現
表現する過程を楽しんだりして、表現する意欲が高まるようになる。

